

# ゴールドドクレスト

## 東証1部指定替え

9月にも

マンシヨン販売中堅のゴールドドクレスト(GOORRY)は、九月にも東京証券取引所第二部から第一部への指定替えを目指す。好調な業績を背景に株主への利益還元に積極的に取り組んだ結果、株主数が順調に増加し、指定替えに必要な株主数(二千二百人)を今年三月末時点で達成できたためだ。一部指定替えを契機に「顧客への知名度と信頼度を向上したい」(安川秀俊社長)と話している。

同社は一九九八年七月に株式を店頭公開、九九年七月に東証二部に上場した。少人数で効率的にマンシヨンを開発・販売する手法を確立し、二〇〇〇年三同期は売上高二百二億円、経常利益三十五億円となり、二年間で売上高、経常利益とも五倍に成長した。

好業績を背景に、九九年三月に一株を二株、さらに今年一月に一株を一・二株に分割した。株主への利益還元だけでなく積極的な情報公開活動も奏功し、四百三十八人(九九年三月末)だった株主数は、一年間で二千三百人を超えるまで増加した。一部指定替えに合わせた公募増資はしない方針。必要な事業資金は銀行借り入れで賄う計画だ。